

注文一覧からの集計

エクセルの関数を使うと、一覧表からアッという間に、集計をまとめることができます。とくに、SumIf 関数はよく使われる、「集計の必須関数」です。

1. 注文表の作成

(1) 「注文表」シートを作り、下図のようにデータを入力します。「会員名」は、適当でかまいません。「疑似個人情報データ生成サービス」(要検索！) などを使って、名前データを作ってしまいましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	どーじょー町内会 夏祭りチケット注文一覧									
2										
3	丁目	会員名	委員会	ビール	ジュース	やきそば	焼き鳥	フランク	かき氷	請求額
4	1	奥 竜也								
5	1	宮城 裕人								
6	1	百瀬 貞雄								
7	1	三枝 三雄								
8	1	川井 正平								
9	1	神田 宣政								
10	1	土田 紫音								
11	1	小谷 克美								
12	1	朝倉 武久								
13	1	緒方 良子								
14	1	辻本 民雄								
15	1	矢崎 駿								
16	1	永瀬 忠良								
17	2	黒沢 秀之								
18	2	曾我 浩二								
19	2	川本 松太郎								
20	2	茂木 楓香								
21	2	有馬 志保								
22	2	辻 雅敏								
23	2	馬場 豊作								
24	2	栗本 啓之								
25	2	菅谷 貴文								
26	2	藤原 賢司								
27	2	飛田 政志								
28	2	塩田 寅吉								
29	3	露木 富雄								
30	3	澤田 薫理								
31	3	花田 富雄								
32	3	益田 勝巳								
33	3	石橋 繁男								
34	3	丸山 照男								
35	3	北田 紀夫								
36	3	河口 完治								
37	3	小室 年昭								
38	3	金城 鉄男								
39	3	江田 知里								
40	合計									
41										

(2) A1～J1 セルを結合し、フォントサイズを 24pt 程度にして、タイトルらしくします。

Excel079

(3) 表をデザインします。次のように「テーブルのスタイル」を活用すると、カンタンに見栄えのする表デザインが完成します。

- ①表部分 (A3～J40) を選択し、「テーブルとして書式設定」から好みのデザインを選択
- ②テーブルを「範囲に変換」。

(4) 「請求額」を計算するためには、「ビール」「ジュース」などの単価が必要です。そこで、3行目の下に1行挿入して、下図のように単価を入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	どーじょー町内会 夏祭りチケット注文一覧									
2	丁目	会員名	委員会	ビール	ジュース	やきそば	焼き鳥	フランク	かき氷	請求額
3	1	奥 竜也								
4	1	宮城 裕人								
5	1	三枝 三雄								
6	1	川井 正平								
7	1	神田 宣孝								
8	1	土田 裕香								
9	1	小寺 孝幸								
10	1	朝香 武久								
11	1	榎方 良子								
12	1	辻本 昌雄								
13	1	矢崎 毅								
14	1	永瀬 忠良								
15	2	黒沢 亮之								
16	2	豊橋 浩二								
17	2	川本 松太郎								
18	2	茂木 隆幸								
19	2	有馬 志保								
20	2	辻 雅敏								
21	2	馬場 晋作								
22	2	藤本 昌雄								
23	2	菅谷 貴文								
24	2	藤原 健司								
25	2	飯田 幸吉								
26	3	露木 富雄								
27	3	澤田 雅博								
28	3	花田 富雄								
29	3	園田 勝巳								
30	3	石橋 雅男								
31	3	丸山 純典								
32	3	北田 紀夫								
33	3	河口 紀夫								
34	3	小室 年昭								
35	3	速城 鉄男								
36	3	江田 知里								
37	合計									

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	どーじょー町内会 夏祭りチケット注文一覧									
2										
3	丁目	会員名	委員会	ビール	ジュース	やきそば	焼き鳥	フランク	かき氷	請求額
4				200	100	300	300	150	200	
5	1	奥 竜也								
6	1	宮城 裕人								

2. 集計表の作成

(1) 「集計」シートを作成して、下図のようにデータを入力します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	丁目別	集計表					
2	丁目	ビール	ジュース	やきそば	焼き鳥	フランク	かき氷
3		1					
4		2					
5		3					
6	合計						
7							
8							
9							
10							
11	委員会別	集計表					
12	委員会	ビール	ジュース	やきそば	焼き鳥	フランク	かき氷
13	体育						
14	交通安全						
15	環境衛生						
16	防犯防災						
17	会計						
18	福祉						
19	広報						
20	合計						
21							

(2) 「注文表」と同じように、タイトルや表デザインを完成させましょう。

	A	B	C	D	E	F	G
1	丁目別	集計表					
2	丁目	ビール	ジュース	やきそば	焼き鳥	フランク	かき氷
3		1					
4		2					
5		3					
6	合計						
7							
8							
9							
10							
11	委員会別	集計表					
12	委員会	ビール	ジュース	やきそば	焼き鳥	フランク	かき氷
13	体育						
14	交通安全						
15	環境衛生						
16	防犯防災						
17	会計						
18	福祉						
19	広報						
20	合計						
21							

3. 請求額の計算

(1)「委員会」を、ドロップダウンリストから選択して入力できるようにしてみましょう。

①「注文表」シートの C5～C40 セルを選択して、「データの入力規則」ウィンドウを表示させます。

②「入力値の種類」は「リスト」とし、「元の値」には「集計」シートの A13～A19 セルを指定します。

丁目	会員名	委員会	ビール
1	奥 竜也	体育	
1	宮城 裕人	交通安全	
1	百瀬 貞雄	環境衛生	
1	三枝 三雄	防犯防災	
1	川井 正平	会計	
1	神田 宣政	福祉	
		広報	

(2) すべての会員について、「委員会」データを入力してください。

(3) ビール～かき氷の注文を、受け付けましょう。「注文表」の D5～I40 に、適当なデータを入力してください。

(4)「注文表」の J5 セルに、「単価と数量の掛け算の合計」が計算されるような関数を、入力します。SumProduct 関数を使います。

=SumProduct (\$D\$4:\$I\$4,D5:I5)

※単価部分 (D4～I4 セル) が絶対参照になっていることに注意。この関数を、ほかのセルにコピーしたときに、指定範囲が崩れません。

(5) J5 セルの関数を、J6～J40 セルにコピーします。ちゃんと請求額が計算されているか、2～3ヶ所確認してみてください。

請求額は、ケタ数が多くなって見にくいので、表示形式をカンマ区切りにしてください。

(6)「注文表」の「合計」行 (41 行目) に、Sum 関数を使って、合計を計算させます。

どーじょー町内会 夏祭りチケット注文一覧										
丁目	会員名	委員会	ビール 200	ジュース 100	やさそば 300	焼き鳥 300	フランク 150	かき氷 200	請求額	
1	奥 竜也	体育	2	2	3	2	1	1	2,450	
6	宮城 裕人	交通安全		2	2	2			1,400	
7	百瀬 貞雄	環境衛生	4		2	2			2,000	
8	三枝 三雄	環境衛生	1	1	1	1	1	1	1,250	
9	川井 正平	防犯防災							0	
10	神田 宣政	交通安全	2	1		2		1	1,300	
11	土田 紫音	会計	2			2			1,000	
12	小谷 克美	体育							0	
13	朝倉 武久	防犯防災		2			2	2	900	
14	緒方 良子	福祉	4	2	3	4	3	2	3,950	
15	辻本 民雄	広報	6			6			3,000	
16	矢崎 駿	交通安全	2	1	1	2			1,400	
17	永瀬 忠良	体育		1			1		250	
18	黒沢 秀之	環境衛生	2						400	
19	曾我 浩二	交通安全	1			1			500	
20	川本 松太郎	体育	1	1		2			900	
21	茂木 楓香	体育						1	200	
22	有馬 志保	会計	3	3	3	1			2,100	
23	辻 雅敏	交通安全	4			2			1,400	
24	馬場 豊作	防犯防災	1	1	1	1			900	
25	栗本 啓之	交通安全		2				2	600	
26	菅谷 貴文	交通安全	3			2			1,200	
27	藤原 賢司	防犯防災	4	2	4	4	2	2	4,100	
28	飛田 政志	環境衛生		2			1	1	550	
29	塩田 真吉	体育	6		2	2			2,400	
30	露木 富雄	防犯防災	2	1	2	1			1,400	
31	澤田 薫理	体育							0	
32	花田 富雄	交通安全	2		1	1			1,000	
33	益田 勝巳	交通安全							0	
34	石橋 繁男	環境衛生	4	1	3	2	1		2,550	
35	丸山 照男	防犯防災							0	
36	北田 紀夫	交通安全		2	2				800	
37	河口 完治	会計	2		2				1,000	
38	小室 年昭	体育	1		1				500	
39	金城 鉄男	交通安全							0	
40	江田 知里	環境衛生		2			2	2	900	
41	合計		59	29	33	42	14	15	42,300	

4. 集計表の完成

「集計表」に移動し、SumIf 関数を使って、注文を集計します。

(1) B3 セルに、「1 丁目の、ビール注文数」が集計されるように、関数を入力します。

=SumIf(検索範囲, 条件, 合計範囲)

という書式です。そこで、B3 セルは「=SumIf(注文表!\$A:\$A,\$A3,注文表!D:D)」となります。

※「A 列全体」の範囲を示すには、「A5 : A40」などとせず、「A : A」とすれば OK。

※検索範囲が、絶対参照になっていることに注意。

※条件は、列のみ絶対参照となっていて、行は相対参照になっています。

(2) B3 セルの関数を、B3～G5 セルにコピーします。ちゃんと集計されているか、2～3ヶ所確認してみてください。

(3) 「合計」行（6 行目）に、Sum 関数を使って合計を入力します。

(4) 同様にして、「委員会別 集計表」も、完成させてください。

	A	B	C	D	E	F	G
1	丁目別 集計表						
2	丁目	ビール	ジュース	やきそば	焼き鳥	フランク	かき氷
3	1	23	12	12	23	8	7
4	2	25	11	10	15	3	6
5	3	11	6	11	4	3	2
6	合計	59	29	33	42	14	15
7							
8							
9							
10							
11	委員会別 集計表						
12	委員会	ビール	ジュース	やきそば	焼き鳥	フランク	かき氷
13	体育	10	4	6	6	2	2
14	交通安全	14	8	6	12	0	3
15	環境衛生	11	6	6	5	5	4
16	防犯防災	7	6	7	6	4	4
17	会計	7	3	5	3	0	0
18	福祉	4	2	3	4	3	2
19	広報	6	0	0	6	0	0
20	合計	59	29	33	42	14	15
21							

(5) 「注文表」「丁目別 集計表」「委員会別 集計表」それぞれの合計は、一致していますか？ 確認してみましょう。